

無理せず

共同から 協働へ

(広域化への取り組み)

広島県東広島市高屋町

たかや

高屋広域協定運営委員会

うね けいいちろう

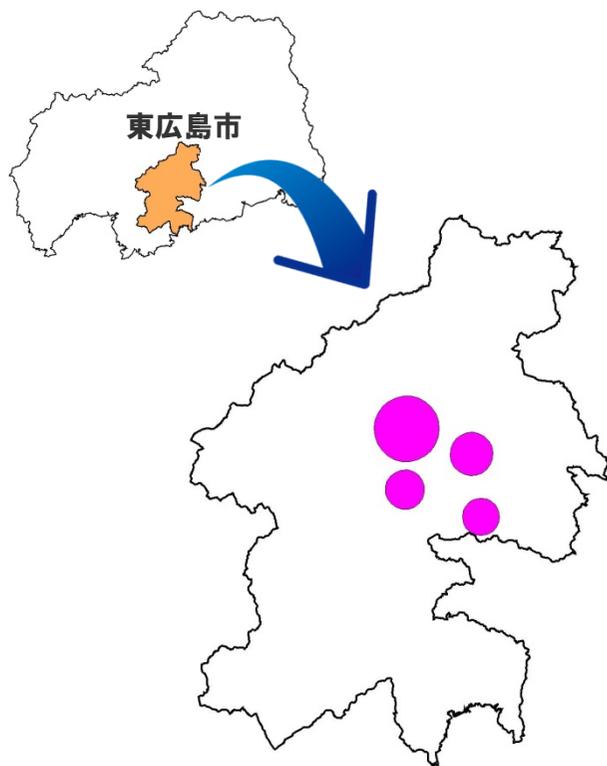
会長 畝 啓一郎

2016/11/01

▶ 目次

- 1 高屋広域協定運営委員会の紹介
- 2 広域化への取り組み
- 3 地域・都市住民近隣集落からの参画
- 4 協働に向けた取り組み

▶ 高屋広域協定運営委員会 東広島市高屋町



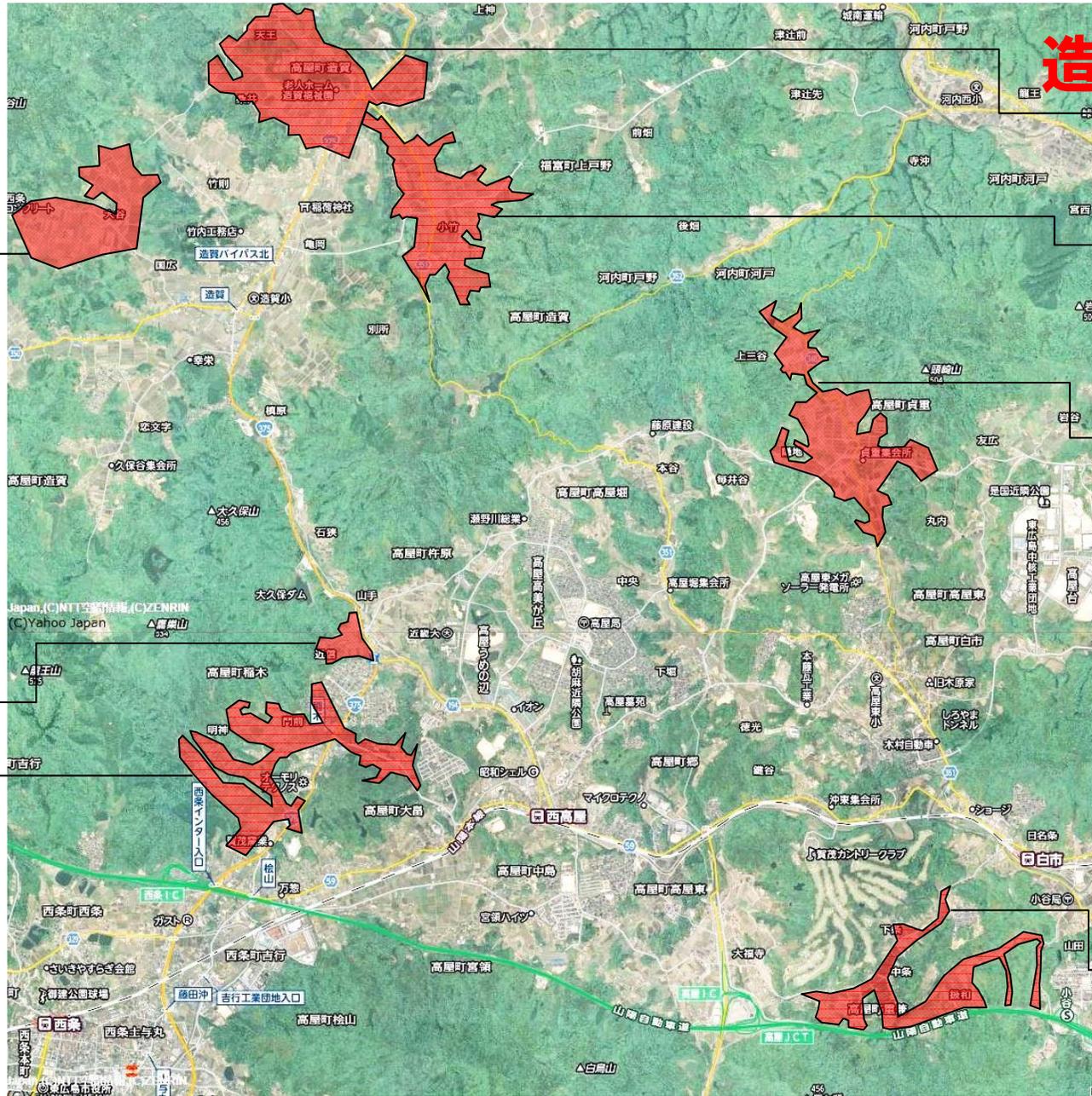
- 広島県東広島市の中央部
（市役所から車で約15分）
- 人口 約18万5千人
（うち高屋町3万人）
- 平成24年3月15日に7集落
の活動組織が合併し設立

▶ 位置図

大谷

近信谷

稲木



造賀東

小竹

貞重

重兼

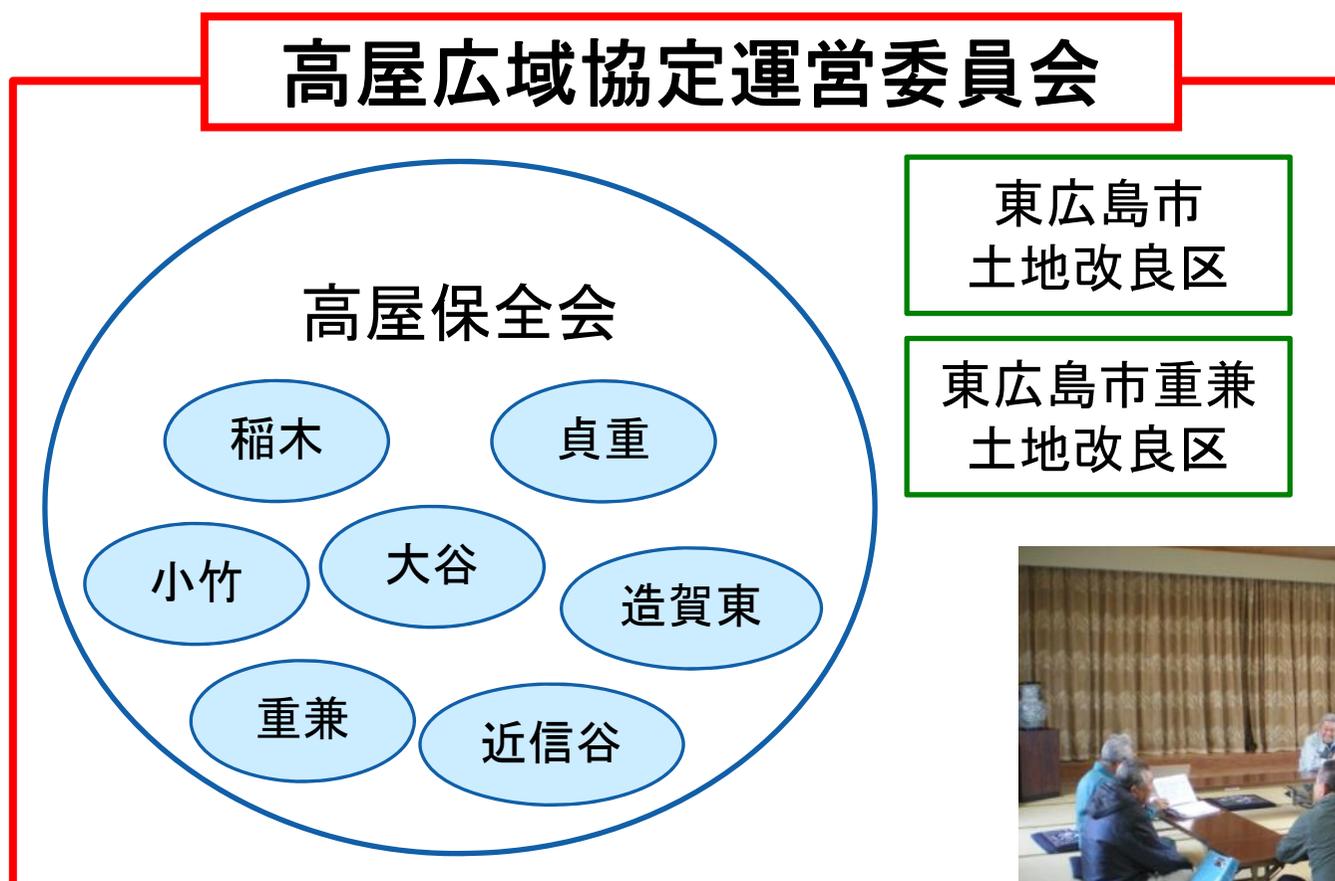
▶ 7集落の概要

集落名	活動開始年	面積 (ha)	構成員
稲木	19	51.2	農事組合法人、農業者、自治会、老人会、土地改良区
大谷	24	38.7	農事組合法人、自治会
小竹	19	52.8	農事組合法人、農業者、自治会、女性会、PTA
貞重	19	44.4	農事組合法人、農業者、自治会、子ども会、JA
重兼	19	35.6	農事組合法人、自治会、女性会、土地改良区
造賀東	19	50.0	農事組合法人、農業者、自治会、女性会、老人会
近信谷	19	6.3	農事組合法人、農業者、土地改良区
計		279.0	

▶ 合併に至った経緯

- 事務が煩雑
- 施設の老朽化
- 活動の合理化
- 農事組合法人(近隣集落)の連携
- 資源向上活動(長寿命化対策)への取り組み
- リーダー不在

▶ 組織図



▶ 合併のメリット

・基本的なもの

① 事務量の減少

(申請等提出書類 7組織→1組織)

② 工事費や期間短縮

(工種別で集約)

③ 活動要件の軽減

(要件の地域間による補完)

・将来的なもの

⑦ 情報と人材の共有

・発展的なもの

④ 集落間の連携

(情報の共有)

⑤ 新たな活動や連携

(情報の共有、人材の活用)

⑥ 波及効果と活性化

(情報発信、人材派遣、活動の連携)

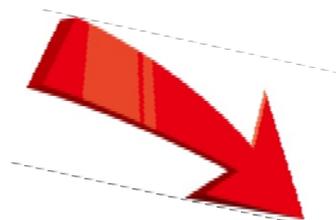
⑧ 次世代のリーダー育成

▶ 多様な参画による活動

- ・農業者以外も参加する泥上げや草刈り
- ・集落全域で取組むゴミ拾いと農道沿いの花植え
- ・近隣団地住民と連携した集落景観保全活動
- ・市民菜園利用者と農業交流活動
- ・都市住民と田植え、稲刈り等農業体験交流会
- ・子ども会と一緒に源氏ホタルの生育観測
- ・子ども達と農村の自然とふれあう遊び体験

これからの課題

- ・農業の衰退
- ・農業従事者の高齢化
- ・人口減少と過疎化
- ・集落機能の低下



今後の取り組み

- ・農業の振興と魅力ある高屋町
- ・高齢者の生きがい対策
(近隣団地の高齢者再雇用)
- ・新規就農者の定住と若者確保



項目	説明内容	備考
活動場所	広島県東広島市高屋町	
対象農用地面積	全体 279ha（田 :274ha、畑 :5ha）	
対象施設	水路 189km、農道 115km、ため池 47箇所	
交付金額	農地維持支払 832万円、資源向上支払（共同） 498万円 資源向上支払（長寿命化） 1,179万円	
活動開始年度	平成24年度～	
組織の構成員	農業者・・・農業者64名、農事組合法人7 非農業者・・・非農業者6名、自治会6、土地改良区2、老人会、女性会、子ども会、PTA、JA	
主な活動内容	農地維持活動	農用地法面・ため池の草刈り、水路・農道の草刈り・泥上げ推進活動として、担い手への農地集積に加え、高齢化の進行による農地の管理や非農家の活動への参加について議論している
	資源向上（共同活動）	農用地法面の補修 地域住民の参加による集落内の美化活動（清掃、植栽） 市民農園や農業体験イベントによる地域外との交流活動
	資源向上（長寿命化）	水路の老朽化・破損部分の補修、水路・ゲートの更新 農道舗装、舗装の打換え